

**安全データシート**  
**JIS Z 7253:2019 による**

印刷日: 2026.01.19

バージョン番号: 1

改訂日: 2025.08.21

**項目 1: 化学品及び会社情報**

・製品識別子

・化学品の名称 **X280-B**

・該当純物質または混合物の関連特定用途及び使用禁止用途

・製品カテゴリー PC1 Adhesives, sealants

・推奨用途 硬化剤

・安全データシートの供給元の詳細情報

・供給者の会社名称,住所及び電話番号

Hottinger Brüel & Kjaer GmbH  
Im Tiefen See 45  
D-64293 Darmstadt  
ドイツ  
電話 +49 6151 803 0  
Eメール: info@hbkworl.com  
https://www.hbkworl.com

・その他の情報問い合わせ先:

Tel. +49(0)6131 19240  
EMail support-esa@hbkworl.com

・緊急連絡電話番号

公益財団法人日本中毒情報センター  
大阪 中毒110番 (24時間対応) 072-727-2499  
つくば 中毒110番 (9時~21時対応) 029-852-9999  
CHEMTREC:0800-300-5842 (24時間緊急電話受付)。  
アメリカ大陸以外の連絡では、CHEMTREC (+ 1-703-527-3887) にお電話ください (R-コールは受け付けられません)。

**項目 2: 危険有害性の要約**

・化学品のGHS分類



GHS08 健康に危険

生殖細胞変異原性 区分2

H341 遺伝性疾患のおそれの疑い

生殖毒性 区分2

H361 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い

特定標的臓器有害性(単回暴露) 区分2 H371 臓器の障害のおそれ



GHS05 腐食

皮膚腐食性/刺激性 区分1A

H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

重篤な眼の損傷性/眼刺激性 区分1

H318 重篤な眼の損傷



GHS07

感作性(皮膚) 区分1

H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

特定標的臓器有害性(単回暴露) 区分3 H335 呼吸器への刺激のおそれ

(2ページに続く)

# 安全データシート

## JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2026.01.19

バージョン番号: 1

改訂日: 2025.08.21

### 化学品の名称 X280-B

(1ページの続き)

・ **GHSラベル要素 ( 絵表示又はシンボル, 注意喚起語, 危険有害性情報及び注意書き )**

・ **GHS ラベル要素**

本製品はGHS(化学品の分類および表示に関する世界調和システム)により分類及び表示されています。

・ **絵表示**



GHS05 GHS07 GHS08

・ **注意喚起語 危険**

・ **危険と定められた成分をラベル表示:**

トリエチレンテトラミン  
イミダゾール  
フェノール

・ **危険有害性情報**

H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷  
H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ  
H341 遺伝性疾患のおそれの疑い  
H361 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い  
H371 臓器の障害のおそれ  
H335 呼吸器への刺激のおそれ

・ **注意書き**

P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。  
P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。  
P301+P330+P331 飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。  
P303+P361+P353 皮膚 (又は髪) に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水【又はシャワー】で洗うこと。  
P304+P340 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し, 呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
P305+P351+P338 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
P405 施錠して保管すること。  
P501 現地/地域/国/国際規定に従い内容物・容器の露出

・ **補足注意事項**

該当する場合は、本安全データシートの第 15 章にあるその他の表示要素を参照してください。

・ **GHS分類に関係しない又はGHSで扱われない他の危険有害性**

・ **PBT ( 残留性、生物濃縮性、毒性物質 ) 及び vPvB ( 高残留性、高生物濃縮性物質 ) アセスメント**  
 ・ **PBT ( 残留性、生物濃縮性、毒性物質 )**: 情報なし  
 ・ **vPvB ( 高残留性、高生物濃縮性物質 )**: 情報なし

### 項目 3: 組成及び成分情報

・ **化学物質・混合物の区別: 混合物**

・ **説明:** 以下の物質の混合物、場合によっては未申告の添加物。

・ **危険な含有成分:**

112-24-3	トリエチレンテトラミン ⚠ 急性毒性(経皮) 区分3, H311; ⚠ 皮膚腐食性/刺激性 区分1, H314; 重篤な眼の損傷性/眼刺激性 区分1, H318; ⚠ 急性毒性(経口) 区分4, H302; 感作性(皮膚) 区分1, H317; 特定標的臓器有害性(単回暴露) 区分3, H335; 水生環境有害性(慢性毒性) 区分3, H412	≥ 10 - < 25%
----------	--	--------------

(3ページに続く)

# 安全データシート

## JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2026.01.19

バージョン番号: 1

改訂日: 2025.08.21

### 化学品の名称 X280-B

		(2ページの続き)
288-32-4	イミダゾール ⚠️ 生殖毒性 区分2, H361; 特定標的臓器有害性(単回暴露) 区分2, H371; ⚠️ 皮膚腐食性/刺激性 区分1, H314; ⚠️ 急性毒性(経口) 区分4, H302; 重篤な眼の損傷性/眼刺激性 区分2A, H319	10%
108-95-2	フェノール ⚠️ 急性毒性(経口) 区分3, H301; 急性毒性(経皮) 区分3, H311; 急性毒性(吸入) 区分3, H331; ⚠️ 生殖細胞変異原性 区分2, H341; 特定標的臓器有害性(反復暴露) 区分2, H373; ⚠️ 皮膚腐食性/刺激性 区分1B, H314 特定濃度限界: Skin Corr. 1B; H314: C ≥ 3 % Skin Irrit. 2; H315: 1 % ≤ C < 3 % Eye Irrit. 2; H319: 1 % ≤ C < 3 %	1%

・補足注意事項: 危険に関する注意事項の文面は 16 章から引用したものである

### 項目 4: 応急措置

#### ・応急手当処置に関する説明

#### ・一般情報:

プロダクトの付着した衣類は速やかに脱ぐこと  
 症状が出た場合、または疑わしい場合は、医師の診断を受けること。  
 応急処置をおこなう者の自己保護措置をほどこす

#### ・吸入した場合

外気を十分に送り込み、安全のため医師を呼ぶ  
 意識不明の場合には安定させた状態で横向きに寝かせ、移送する

#### ・皮膚に付着した場合

即刻石鹼と水で洗い、よくすすぐ  
 汚染されたり、液体が染み込んだ衣服はすぐに脱いでください。  
 すぐれない症状が続く場合は、医師の診察を受けてください。

#### ・眼に入った場合

瞼を開けたまま、流水で何分間か眼をすすぎ、医者に相談する  
 ラベルフリーの成分の混合物。

#### ・飲み込んだ場合

口をすすぎ、水を十分飲む  
 吐かずに、即医師を呼ぶ

・急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 追加的な関連情報は得られていません。

・何らかの即時医療処置及び特別治療の必要性を示す兆候 追加的な関連情報は得られていません。

### 項目 5: 火災時の措置

#### ・消火剤

#### ・適切な消火剤

周辺の状況に合わせた消火措置を取る  
 耐アルコール泡消火剤、粉末消火剤または二酸化炭素。大きな火災には水スプレーで消火すること。

#### ・使ってはならない消火剤 全開状態で放水

#### ・本化学物質または混合物から発生する特別な危険性

燃焼ガスを吸入すると、深刻な健康被害を引き起こす可能性があります。  
 火災の際に以下の成分が遊離する可能性あり

一酸化炭素と二酸化炭素  
 酸化窒素 (NOx)

#### ・消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

・特別な保護装備: 酸素ボンベ付き呼吸保護装備を着用

(4ページに続く)

# 安全データシート

## JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2026.01.19

バージョン番号: 1

改訂日: 2025.08.21

化学品の名称 X280-B

(3ページの続き)

- ・ **その他の情報** 貯蔵物は、可能な場合は、火災区域に入れないようにしてください。

### 項目 6: 漏出時の措置

- ・ **人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置** 防護服を着用。防護服を着用していない人は近づけない
- ・ **環境に対する注意事項** 下水道、土壌、または河川に流れないようにしてください。
- ・ **封じ込め及び浄化の方法及び機材**  
液体吸収材 (砂、珪藻土、酸結合剤、ユニバーサル結合剤、おがくず) で吸収する  
中和剤を使用  
13 項に下がい汚染材は廃棄物として処理する  
十分な換気を心がける
- ・ **他のセクションへの言及**  
安全な取り扱い方に関しては 7 項を参照  
人の保護装備の情報に関しては 8 項を参照  
廃棄処分に関しては 13 項参照

### 項目 7: 取扱い及び保管上の注意

- ・ **取扱い**  
作業場では十分な換気、埃を吸い取るよう心がける  
容器は十分に注意しながら開封し、取り扱う  
エアゾールの発生を防ぐ
- ・ **火災および爆発防止に関する注意事項:** 呼吸保護装置を用意しておく
- ・ **取り扱い方:**  
作業中の飲食、喫煙はしない。鼻をすすらない  
目、皮膚、衣服と接触することは避けてください。  
食物、飲み物、飼料からは遠ざける  
汚れのしみ込んだ衣類は即刻脱ぐ  
汚染した服は再使用前に洗ってください。
- ・ **混融危険性を含めた安全貯蔵条件**
- ・ **保管**  
保管スペースおよび容器に関する要求事項: 容器は、涼しい場所に密封して保管してください。
- ・ **同じ場所に保管する際の注意事項:** 必要ない
- ・ **保管条件に関するその他の注意事項:** 容器は密閉した状態に保つ
- ・ **特定の最終用途** 追加的な関連情報は得られていません。

### 項目 8: ばく露防止及び保護措置

- ・ **許容濃度等**
- ・ **作業場において限界値の監視を要する成分:**  
OEL: 職業暴露限界値

#### 108-95-2 フェノール

OEL | 長期値: 19 mg/m<sup>3</sup>, 5 ppm

- ・ **生物学的許容値を持つ原料:**

#### 108-95-2 フェノール

OEL-B | 250 mg/g Cr  
試料: urine  
試料採取時期: End of shift  
物質: Phenol

(5ページに続く)

# 安全データシート

## JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2026.01.19

バージョン番号: 1

改訂日: 2025.08.21

### 化学品の名称 X280-B

(4ページの続き)

・ **追加注意事項:** 生成時に有効なリストがもとなっている

・ **設備対策**

・ **保護具**

・ **一般防止措置および衛生措置:**

食物、飲み物、飼料からは遠ざける  
 汚れのしみ込んだ衣類は即刻脱ぐ  
 休憩の前、作業終了後には手を洗う  
 目、皮膚、衣服と接触することは避けてください。  
 作業中の飲食、喫煙はしない。鼻をすすらない  
 汚染した服は再使用前に洗ってください。

・ **呼吸保護器具:**

短時間もしくは負担が小さい場合には呼吸フィルター付装置を、集中的にあるいは長時間触れる場合には、酸素ポンベ付き呼吸保護装置を使用すること

・ **手の保護:**



保護手袋

カテゴリー III の CE マークの付いた化学製品取り扱い用保護手袋のみを使用する  
 手袋の材質は物質/材料/調剤に対して耐性であり、成分を通すことがあってはならない  
 テストをおこなっていないため、物質/調剤/化合物を取り扱う際の手袋の材質として勧められるものはない  
 浸透時間、透過性および劣化の点を留意しながら手袋の材質を選択する

・ **手袋材**

適当な手袋は材質だけではなく、その他の品質によっても変わり、各メーカーによって異なる。調合する際の物質は複数の成分から生成されるため、手袋材の耐久性は予想できない。このため使用前には必ずチェックしなければならない

ブチ-ルゴム

推奨材料厚: 0.3 mm、破断時間: 480 min.

ニトリルゴム

推奨材料厚: 0.33 mm、破断時間: 30 min.

・ **手袋材の浸透時間** 正確な浸透時間については保護手袋メーカーに問い合わせ、それを遵守すること

・ **眼の保護:**



[6.]EN 166に従った安全ゴーグル



顔面保護

・ **体の保護:**



作業保護服

JP

(6ページに続く)

# 安全データシート

## JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2026.01.19

バージョン番号: 1

改訂日: 2025.08.21

化学品の名称 X280-B

(5ページの続き)

### 項目 9: 物理的及び化学的性質

#### 基本的な物理及び化学特性に関する情報

・物理状態	液状
・色	ライトブラウン
・臭い	フェノールのような
・嗅覚閾値	決まっていない
・融点 / 凝固点 (混合物の場合は、記載省略可)	決まっていない
・沸点又は初留点及び沸点範囲	107 °C
・可燃性	情報なし
・爆発下限界及び爆発上限界 / 可燃限界	
・下限:	0.1 Vol %
・上限:	15 Vol %
・引火点	135 °C
・自然発火点	300 °C
・分解温度	決まっていない
・pH	決まっていない
・粘性:	
・動粘性率	決まっていない
・力学的:	決まっていない
・溶解度 (混合物の場合は、記載省略可)	
・水:	完全に混合できる
・n-オクタノール / 水分配係数 (log 値) (混合物の場合は、記載省略可)	決まっていない
・蒸気圧 約 20 °C	0 hPa
・密度及び / 又は相対密度	
・密度 約 20 °C:	1.1 g/cm <sup>3</sup>
・相対的密度	決まっていない
・蒸気密度	決まっていない
・粒子特性	詳細は不明。

#### その他のデータ

・外観	
・形:	液状
・発火温度:	プロダクトは自然発火しない
・爆発の危険:	プロダクトは爆発する危険はない
・溶剤含有量:	
・固形物含有量:	0.4 %
・状態の変化	
・気化速度	決まっていない

### 項目 10: 安定性及び反応性

- ・反応性 追加的な関連情報は得られていません。
- ・化学的安定性
- ・有効期限の関連情報 製品は安定している。
- ・熱分解/回避すべき条件: 規定どおりの使用では分解しない
- ・危険有害反応可能性 危険な反応は起きていない
- ・避けるべき条件 追加的な関連情報は得られていません。
- ・混触危険物質 追加的な関連情報は得られていません。

(7ページに続く)

# 安全データシート

## JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2026.01.19

バージョン番号: 1

改訂日: 2025.08.21

化学品の名称 X280-B

(6ページの続き)

・危険有害な分解生成物 通常の使用と適切な保管においては無し。

### 項目 11: 有害性情報

・毒性学的影響に関する情報  
 ・急性毒性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしていません。

・分類上の LD/LC50 値:

#### ATE (急性毒性推定値)

口	LD50	2,875 - 6,155 mg/kg
皮膚	LD50	5,589 - 12,855 mg/kg
吸収	LC50	50 - 278 mg/l/4h

#### 112-24-3 トリエチレンテトラミン

口	LD50	1,861.9 mg/kg (ラット) (OECD 401)
皮膚	LD50	1,465.4 mg/kg (ウサギ) (OECD 402)

#### 108-95-2 フェノール

口	LD50	530 mg/kg (ラット) (OECD 401)
皮膚	LD50	660 mg/kg (ラット) (OECD 402)

・初期刺激作用:  
 ・皮膚腐食性 / 刺激性 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷  
 ・眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性 重篤な眼の損傷  
 ・呼吸器感作性又は皮膚感作性 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ  
 ・生殖細胞変異原性 遺伝性疾患のおそれの疑い  
 ・発がん性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしていません。  
 ・生殖毒性 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い  
 ・特定標的臓器毒性 ( 単回ばく露 ) 臓器の障害のおそれ  
 呼吸器への刺激のおそれ  
 ・特定標的臓器毒性 ( 反復ばく露 ) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしていません。  
 ・呼吸器に危険 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしていません。  
 ・誤えん有害性 追加的な関連情報は得られていません。  
 ・次の種類の潜在的な効果に対する情報  
 ・CMR-作用 ( 癌誘発、因子変異、そして進化危険作用 )  
 生殖細胞変異原性 区分2, 生殖毒性 区分2

### 項目 12: 環境影響情報

・毒性

・水生生物に対する毒性:

#### 108-95-2 フェノール

EC50 (静力学的)	3.1 mg/l/48h (Ceriodaphnia dubia) (US EPA)
EC50 (静力学的)	61.1 mg/l/96h (Raphidocelis subcapitata) (US EPA)
LC50 (動力学的)	8.9 mg/l/96h (Oncorhynchus mykiss) (US EPA)

・残留性・分解性 追加的な関連情報は得られていません。  
 ・その他の注意事項: 混合物に関する情報はありません。  
 ・生態蓄積性 追加的な関連情報は得られていません。  
 ・土壌中の移動性 追加的な関連情報は得られていません。

(8ページに続く)

# 安全データシート

## JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2026.01.19

バージョン番号: 1

改訂日: 2025.08.21

### 化学品の名称 X280-B

(7ページの続き)

- ・ PBT ( 残留性、生物濃縮性、毒性物質 ) 及び vPvB ( 高残留性、高生物濃縮性物質 ) アセスメント
- ・ PBT ( 残留性、生物濃縮性、毒性物質 ): 情報なし
- ・ vPvB ( 高残留性、高生物濃縮性物質 ): 情報なし
- ・ オゾン層への有害性 追加的な関連情報は得られていません。
- ・ 他の副作用
- ・ その他のエコロジーに関する注意事項:
- ・ 一般注意事項:  
 地下水、河川あるいは下水設備に流してはならない  
 希薄せずあるいは中和せずに、廃水もしくは導水路に流してはならない  
 地下に少量流れ込んでも飲料水を汚染する

### 項目 13: 廃棄上の注意

- ・ 化学品 ( 残余廃棄物 ) , 当該化学品が付着している汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
- ・ 勧告: 家庭ごみとはいっしょに処分できない。下水処理施設に流してはならない
- ・ 洗浄されていないパッケージ:
- ・ 勧告:  
 パッケージは包装材規定に従い処分する  
 汚染されていないパッケージはリサイクルに持ち込める  
 洗浄できないパッケージはプロダクトと同様の方法で処分する
- ・ 推薦する洗剤: 水、場合に応じて洗剤も使って

### 項目 14: 輸送上の注意

- ・ 国連番号
- ・ ADR/RID, IMDG, IATA UN3267
- ・ 品名 ( 国連輸送名 )
- ・ ADR/RID 3267 CORROSIVE LIQUID, BASIC, ORGANIC, N.O.S.
- ・ IMDG, IATA CORROSIVE LIQUID, BASIC, ORGANIC, N.O.S. (TRIETHYLENETETRAMINE)
- ・ 国連分類 ( 輸送における危険有害性クラス )
- ・ ADR/RID
- 
- ・ 分類 8 (C7) 腐食性成分
- ・ 危険物ラベル 8
- ・ IMDG, IATA
- 
- ・ Class 8 腐食性成分

(9ページに続く)

# 安全データシート

## JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2026.01.19

バージョン番号: 1

改訂日: 2025.08.21

### 化学品の名称 X280-B

(8ページの続き)

・ Label	8
・ 容器等級 ・ ADR/RID, IMDG, IATA	III
・ 環境危険:	情報なし
・ ユーザー用特別予防措置 ・ ケムラー符号: ・ EMS (電子メールサービスナンバー) 番号: ・ Segregation groups ・ Stowage Category ・ Stowage Code ・ Segregation Code	警告: 腐食性成分 80 F-A,S-B (SGG18) Alkalis A SW2 Clear of living quarters. SG35 Stow "separated from" SGG1-acids
・ MARPOL73/78附属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質	情報なし
・ 輸送/その他の説明: ・ Quantity limitations	On passenger aircraft/rail: 5 L On cargo aircraft only: 60 L
・ ADR/RID ・ Excepted quantities (EQ)	Code: E1 Maximum net quantity per inner packaging: 30 ml Maximum net quantity per outer packaging: 1000 ml
・ IMDG ・ Limited quantities (LQ) ・ Excepted quantities (EQ)	5L Code: E1 Maximum net quantity per inner packaging: 30 ml Maximum net quantity per outer packaging: 1000 ml
・ UN "模範規制":	UN 3267 CORROSIVE LIQUID, BASIC, ORGANIC, N.O.S. 8, III

### 項目 15: 適用法令

- ・ 該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報 追加的な関連情報は得られていません。
- ・ 化審法

#### ・ 既存化学物質

112-24-3	トリエチレンテトラミン	2-163, 7-5
288-32-4	イミダゾール	5-381
108-95-2	フェノール	3-481

#### ・ 特定化学物質

内容成分はリストアップされていない

#### ・ 監視化学物質、旧第二種監視化学物質、旧第三種監視化学物質

112-24-3	トリエチレンテトラミン	旧第二
108-95-2	フェノール	旧第二

#### ・ 優先評価化学物質

108-95-2	フェノール
----------	-------

(10ページに続く)

# 安全データシート

## JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2026.01.19

バージョン番号: 1

改訂日: 2025.08.21

### 化学品の名称 X280-B

(9ページの続き)

<b>・ 白物質</b>		
内容成分はリストアップされていない		
<b>・ 既存化学物質安全性点検結果 ( 分解性・ 蓄積性 )</b>		
112-24-3	トリエチレンテトラミン	
288-32-4	イミダゾール	
108-95-2	フェノール	
<b>・ 既存化学物質安全性点検結果 ( 毒性 )</b>		
内容成分はリストアップされていない		
<b>・ PRTR 制度 - 第一種指定化学物質 (令和 5 年度以降のSDS提供)</b>		
108-95-2	フェノール	1-391 JPSN: 349
<b>・ PRTR 制度 - 特定第一種指定化学物質 (令和 5 年度以降のSDS提供)</b>		
内容成分はリストアップされていない		
<b>・ PRTR 制度 - 第二種指定化学物質 (令和 5 年度以降のSDS提供)</b>		
112-24-3	トリエチレンテトラミン	2-070 JPSN: 278
<b>・ 毒物及び劇物取締法: 劇物</b>		
112-24-3	トリエチレンテトラミン	
<b>・ 毒物及び劇物取締法: 有機シアン化合物から除かれるもの</b>		
内容成分はリストアップされていない		
<b>・ 毒物及び劇物取締法: 毒物</b>		
内容成分はリストアップされていない		
<b>・ 毒物及び劇物取締法: 特定毒物</b>		
内容成分はリストアップされていない		
<b>・ 労働安全衛生法</b>		
<b>・ 危険物</b>		
<b>・ 爆発性の物 ( 施行令別表第 1 第 1 号 )</b>		
内容成分はリストアップされていない		
<b>・ 発火性の物 ( 施行令別表第 1 第 2 号 )</b>		
内容成分はリストアップされていない		
<b>・ 酸化性の物 ( 施行令別表第 1 第 3 号 )</b>		
内容成分はリストアップされていない		
<b>・ 引火性の物 ( 施行令別表第 1 第 4 号 )</b>		
内容成分はリストアップされていない		
<b>・ 可燃性のガス ( 施行令別表第 1 第 5 号 )</b>		
内容成分はリストアップされていない		
<b>・ 特定化学物質等</b>		
<b>・ 第一類物質</b>		
内容成分はリストアップされていない		
<b>・ 第二類物質</b>		
内容成分はリストアップされていない		
<b>・ 第三類物質</b>		
108-95-2	フェノール	

(11ページに続く)

# 安全データシート

## JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2026.01.19

バージョン番号: 1

改訂日: 2025.08.21

### 化学品の名称 X280-B

(10ページの続き)

・ **名称等を通知すべき有害物**

・ **表示(又は通知)の対象となる範囲  $\geq 1\%$**

内容成分はリストアップされていない

・ **表示(又は通知)の対象となる範囲  $\geq 0,1\%$**

112-24-3	トリエチレンテトラミン	$\geq 2025.04.01: 2-1569$
----------	-------------	---------------------------

288-32-4	イミダゾール	$\geq 2025.04.01: 2-191$
----------	--------	--------------------------

108-95-2	フェノール	$\geq 2025.04.01: 2-1697, \leq 2025.03.31: 9-474$
----------	-------	---

・ **表示(又は通知)の対象となる範囲  $> 0\%, > 0,1\%$**

内容成分はリストアップされていない

・ **製造許可物質**

内容成分はリストアップされていない

・ **がん原性物質 (安衛則) (作業記録等の30年保存対象物質)**

内容成分はリストアップされていない

・ **鉛中毒予防規則 (施行令別表第4)**

内容成分はリストアップされていない

・ **四アルキル鉛中毒予防規則 (施行令別表第5)**

内容成分はリストアップされていない

・ **有機溶剤中毒予防規則第 (施行令別表第6の2)**

・ **第一種有機溶剤等**

内容成分はリストアップされていない

・ **第二種有機溶剤等**

内容成分はリストアップされていない

・ **第三種有機溶剤等**

内容成分はリストアップされていない

・ **強い変異原性が認められた化学物質**

内容成分はリストアップされていない

・ **安衛法:皮膚等障害化学物質等及び特別規則に基づく不浸透性の保護具等の使用義務物質**

・ **皮膚刺激性有害物質**

112-24-3	トリエチレンテトラミン
----------	-------------

288-32-4	イミダゾール
----------	--------

・ **皮膚吸収性有害物質**

内容成分はリストアップされていない

・ **特化則等**

内容成分はリストアップされていない

・ **消防法**

・ **危険物**

112-24-3	トリエチレンテトラミン	第4類 引火性液体
----------	-------------	-----------

・ **指定可燃物**

108-95-2	フェノール
----------	-------

・ **消防活動阻害物質**

内容成分はリストアップされていない

・ **海洋汚染防止法**

112-24-3	トリエチレンテトラミン
----------	-------------

(12ページに続く)

# 安全データシート

## JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2026.01.19

バージョン番号: 1

改訂日: 2025.08.21

### 化学品の名称 X280-B

(11ページの続き)

108-95-2 フェノール

- ・ 特定物質等の規制等によるオゾン層の保護に関する法律

- ・ 特定物質代替物質

内容成分はリストアップされていない

- ・ 特定物質

内容成分はリストアップされていない

- ・ 大気汚染防止法

112-24-3 トリエチレンテトラミン

108-95-2 フェノール

- ・ 水質汚濁防止法

- ・ 有害物質

内容成分はリストアップされていない

- ・ 指定物質

108-95-2 フェノール

3-3-55

- ・ 化学物質の安全性評価: 化学物質安全性評価が遂行されていない

### 項目 16: その他の情報

この情報は現在の我々の認識に基づいている。ただし、プロダクトの特性を保証するものではなく、また契約において法的根拠にはならない

- ・ データシート作成部門:



DEKRA Assurance Services GmbH, Hanomagstr. 12, D-30449 Hannover, Germany, Tel.: (+49) 511 42079 - 0, reach@dekra.comとの協働で作成されました。

このドキュメントの変更には、DEKRA Assurance Services GmbHの明示的な同意が必要です。

- ・ 縮約と二文字語:

ADR: Accord relatif au transport international des marchandises dangereuses par route (European Agreement Concerning the International Carriage of Dangerous Goods by Road)

IMDG: International Maritime Code for Dangerous Goods

IATA: International Air Transport Association

EINECS: European Inventory of Existing Commercial Chemical Substances

ELINCS: European List of Notified Chemical Substances

CAS: Chemical Abstracts Service (division of the American Chemical Society)

LC50: Lethal concentration, 50 percent

LD50: Lethal dose, 50 percent

PBT: Persistent, Bioaccumulative and Toxic

vPvB: very Persistent and very Bioaccumulative

急性毒性(経口) 区分4: Acute toxicity – Category 4

急性毒性(経皮) 区分3: Acute toxicity – Category 3

皮膚腐食性/刺激性 区分1: Skin corrosion/irritation – Category 1

皮膚腐食性/刺激性 区分1A: Skin corrosion/irritation – Category 1A

皮膚腐食性/刺激性 区分1B: Skin corrosion/irritation – Category 1B

重篤な眼の損傷性/眼刺激性 区分1: Serious eye damage/eye irritation – Category 1

重篤な眼の損傷性/眼刺激性 区分2A: Serious eye damage/eye irritation – Category 2A

感作性(皮膚) 区分1: Skin sensitisation – Category 1

生殖細胞変異原性 区分2: Germ cell mutagenicity – Category 2

生殖毒性 区分2: Reproductive toxicity – Category 2

特定標的臓器有害性(単回暴露) 区分2: Specific target organ toxicity (single exposure) – Category 2

特定標的臓器有害性(単回暴露) 区分3: Specific target organ toxicity (single exposure) – Category 3

特定標的臓器有害性(反復暴露) 区分2: Specific target organ toxicity (repeated exposure) – Category 2

水生環境有害性(慢性毒性) 区分3: Hazardous to the aquatic environment - long-term aquatic hazard – Category 3

- ・ \* 前の版からデータを変更